

# 消防団たずね歩き

## 新人女性消防団員として

兵庫消防団第5分団は、兵庫区の中南部を管轄しています。私が消防団に入団して1年半になります。

入団のきっかけは2つありました。一つ目はコロナ禍に受けた手術です。入院中に医療スタッフや救急隊員の皆さんが、日々緊張の中で仕事されている姿を間近に見ました。私に出来ることは何だろうと考えていた時に、消防団員募集のちらしを目にしました。

二つ目は、家庭の事情です(笑)。我が家は小学6年の男児と私のシングルファミリーです。仕事は他市で保育士をしているため、大規模な地震が起きた場合、しばらく神戸に帰れない可能性があります。そのため、学校以外の繋がりを大切にしていきたいと思ったことも入団のきっかけでした。入団後は月1回の定例訓練で、規律や動作、消防器具の取り扱い方などを教わりました。また、救急インストラクター資格を取得し、担当区内の小中学校へ行き、怪我の手当てや救命講習の指導をしています。同性ということで、女子グループを担当することもあります。子ども達が熱心に取り組んでいる姿を励ましながら、受講生が緊急時に思い出し、役に立てばと思っています。

今年1月、火災現場に初めて出動しました。しばらく規制線周辺で近隣の方の対応をしていましたが、先輩団員が「今後のためにも色々見ておいたらいい」と指導してくださり、各機関が分担して救急活動や消火活動、状況把握などを行っている所にも入りました。張り詰めた空気感につつまれた中で、要救助者を目の当たりにし、何も出来ませんでした。帰路に着き、カイロをポケットに入れていたことを思い出し、「あの人に渡せばよかった」と反省の念が湧いてきました。的確

に状況把握をして指示を出したり、救護所まで温かく声をかけながら付き添っていた団員の皆さんの姿を忘れずに、その時々で一団員として、自分に出来ることをこれからも考えていきたいと思えます。(第5分団 松田恵美子)



消防団活動の様子